

# 第5分科会：環境経営評価方法の研究

## (1)概要

環境経営ということばが浸透し、環境保全活動を事業活動に組み込んでいく動きとして、ISO14001 環境マネジメントシステム構築、環境配慮投融資、環境配慮新技術研究開発、環境会計、環境報告書・CSR 報告書開示といった取組が並行的に行われている。

しかし、これらの取組の計画や実績を総合的に評価し、経営者や外部の利害関係者に、環境経営の有効性や効率性を端的に訴求することは一般に困難である。このことは、経営の財務的側面の有効性や効率性(収益性や財務の健全性に対応)を財務諸表によって端的に訴求できることと対照的である。本研究会では、環境経営の評価を財務諸表のレベルまで引き上げようと意図するEEBE®(External Economic Benefit Evaluation 外部経済便益評価)という新しい手法の研究を含め、環境経営評価のための体系及び手順を研究し情報発信する。

## (2)研究内容

研究会として環境経営の定義を明確にすることから始め、環境経営評価(環境経営が有効かつ効率的に行われているかどうか、あるいは課題は何かまで定量的に示すことを目指す)のための新しい具体的な知見を得ることを目指して、メンバーが協力して活動する。

## (3)その他

新しい考え方による環境経営評価の方法について、セミナーのコンテンツやコンサルティング手順の開発を目指す。